

6/15

静岡新聞(朝)

浜松

ものづくり 現場を見学

イタリアの経営者ら15人

十五人。二〇〇四年に松
松商工会議所女性会がイ
タリアで、浜松地域のイ
R活動に取り組んだこと
などが縁で初めて本県を
訪れ、静岡のヤマハ、ソフ
トウェア製作のアルモニ
コス、検査装置開発のマ
イパルスの三社でものづ
くりの現場を見学した。

同市中央区で開かれた歓
迎会には同商議所の中上
正邦会頭や鈴木康友市長
らも出席。訪問を代弁
してイタリア貿易振興会
のフェルディナンド・パ
ストレル海外部長が「ヤ
マハのギターやヤマハ発
動機のバイクを自分も使
用している。国間の交流
がさらに深まると、経済活
動につながる」とを期待
してこます」とおぼろけい
した。

日本とイタリアの経済
問題について協議する日
伊ビジネスグループミー
ティングのために来日し
たイタリアの訪問団が十
四日、浜松市を訪れて地
域産業を視察した。

一行は十三日に東京
都で開かれたミーティン
グに出席したイタリアの
会社経営者や大学教授ら



歓迎会でおこなわれるイタリア貿易振興会のパネ
ル・パストレル海外部長「浜松市のマイン・ビ・エロム

知財対策など連携

日伊ビジネス 専門委員会設置へ



会見する（左から）福原日本側会長、松島外務政務官、アゴスティーニ伊貿易省政務次官、ザッパ伊側会長

日本とイタリアの産業関係者による日伊ビジネスグループの第19回会合が13日、東京・九段のイタリア文化会館で開かれた。両国で知的財産保護、海外直接投資（FD

I）、金融・ハイテクなどの分野で協力を進めることで一致。関係進展を早めるため、現行の年一回の全体会合に加え、個別テーマ、分野ごとの専門委員会を半年ごとに開

く方針も打ち出した。

日本側の代表を務める福原義春会長（資生堂名誉会長）は会見で、「両国の間では相互理解、友好の機が熟し、相互投資や密接な産業提携の域に入ってきた」とし、専門委員会設置に前向きな姿勢を表明。伊側のジョルジョ・ザッパ会長（フィソムッカニカCOO）はFDI、ハイテク、研究開発投資といった分野での二国間協力の拡大を強調した。

また、松島みどり外務政務官が「中国の模倣品により伊のブランドが大きな被害にあっている」として、伊側に協力を呼びかけたのに対し、マウロ・アゴスティーニ伊貿易省政務次官は、「製造業の割合が高く、知財保護は伊でも大きな問題。日本と連携して取り組んでいきたい」と応じた。

2007. 6/14 日刊工業新聞 刊
面 版

第19回日伊ビジネスグループ会合が13日、東京で開かれ、「グローバル化に対応した事業戦略―日伊協働の可能性―をテーマに意見交換した。同会合は日本とイタリアの産業界が意見交換のため、89年以

来、毎年開催している。

来、毎年開催している。

来、毎年開催している。

伊で日本文化発信充実へ

子の中で甘利明経産相は「イタリアの感性に根ざしたモノづくりに日本が学ぶところが多い。デザイン、ファッションの分野では日本の感性も世界で注目されており、政府は感性という新たな価値軸を提案する感性価値創造イニシアテ

規2億円、ネットで33・9%増の1億4600万円。イタリアからの対日投資額は新規1億9000万円、ネットでは0・2%減の3300万円だった。伊企業の対日投資では今年2月に知的財産

保護の大手企業シズベルが日本法人を設立したのに続き、今後、ブルガリの東京・表参道店（今年11月）と、銀座タワー（同12月）の開設などが含まれている。イタリアで事業展開している日本企業は317社、従業員

2万8000人、売上高165億円。今後の日伊経済関係の課題は①先行しているファッション、食品以外の環境、エネルギー、先端技術など分野での協力拡大②直接投資の相互拡大③アジアでの戦略的協働④イタリアでも関心の高い日本文化を紹介するイベントの開催・充実など。

2007. 6/14 日刊工業新聞 刊
面 版